

新生 柏の葉アーバンデザインセンター 新機能満載の新しい拠点から、街づくりは次のステージへ



2006年11月20日の開設から約4年、柏の葉キャンパス駅前西口を拠点に活動を続けてきた柏の葉アーバンデザインセンター(UDCK)は、2010年9月に同駅東口に移転しました。従来の施設の外観や規模を引き継ぎながら、情報発信の強化や実験的な新技術の導入により、これまで以上に柏の葉の魅力を伝える施設にリニューアル。移転とともに、柏の葉アーバンデザインセンターの活動も第二期に突入します。

UDCKの歩み

UDCKは、柏の葉周辺地域の街づくり推進拠点。創設者である故・北沢猛(東京大学大学院教授)の提唱により、日本で初めて「公(行政)・民(企業/市民)・学(大学)」が協働する街づくりセンターとして設立されました。

東京大学・千葉大学・柏市・三井不動産・柏商工会議所・田中地域ふるさと協議会・首都圏新都市鉄道が構成団体となり、その他、関連公共団体や専門技術を持つ複数の協力団体が活動をサポートしています。

UDCKの役割は大きく三つ。一つは、会議等を通じて、多様な街づくりの関係者をつなぐプラットフォームとしての機能。二つ目は、街づくりの専門家として構想・計画・推進を行うシンクタンクとしての機能。そして最後が、柏の葉の取り組みを広く伝える情報発信機能です。

2006年の発足以来、空間デザインの提案・各種フォーラムの開催・市民活動の推進など、様々な活動を展開してきました。2009年度の実績では、街づくり会

議や大学の講義、フォーラム、市民活動などを合わせ、施設利用は年間約500回に及んでいます。

旧施設は駅前街区の開発に伴って利用できなくなりましたが、その実績と必要性が認められ活動が継続、新施設への移転が決まりました。

街の魅力を発信

移転を機に、施設もバージョンアップ。まずは、館内の情報発信機能を強化しました。これまでも、UDCKではイベント案内のリーフレットやパネル掲示などを通じて情報発信を行っていましたが、個別の取り組みが中心で街の魅力が総合的に伝わっていないことが課題に。そこで、二つの情報ツールを刷新しました。

一つは、1/1000スケールの都市模型のリニューアル。今後開発が進む土地区画整理事業の範囲は、これからできる道路や建物を追加して未来の

街の姿がイメージできるように。また、つくばエクスプレスや柏の葉公園などの主要な施設をLED照明にてライトアップ。それぞれの解説パネルを見ながら該当施設を点灯させることで、どこにどのような施設があるのか分かりやすく確認できるようになりました。

二つ目は、街づくり活動の紹介映像の展示。大学の研究事業から市民の交流活動まで、柏の葉を代表する15のプロジェクトをピックアップし、それぞれ1~2分程度の映像にまとめました。館内の大型モニターで常時鑑賞可能で、簡単操作で見たい映像を自由に選択できます。



1/1000模型(左)と映像モニター(右)。来館者が直接操作できる仕組みで、能動的に楽しめるように設計。

新生 柏の葉アーバンデザインセンター

実験の発信基地

さらに新施設には、実証実験都市を標榜する柏の葉のショーケースとなるよう、複数の実験的な新技術を導入しました。

建物は、「ツーバイフォー工法」という建築技術によって、国内で初めて、防火地域での大空間木造建築に挑戦。鉄筋コンクリート造に比べて建築時のCO₂排出を削減しました。

建物の周囲には、国産ヒノキを使った700平方メートル以上のウッドデッキを設置。クールミスト(散霧)システムを装備したパーゴラ(日陰棚)も設置し、国産材によるヒートアイランド対策への効果を検証します。

また、オフィスにも実験を導入。室内の明るさを人間の脳内リズムに合わせ自動で調節し、仕事の効率向上や身体機能のバランス調整を図る次世代の照明システムを採用し、壁と床には千葉大学監修による化学物質の発生を極力抑えた建材を利用しています。

こうした新設備に加えて、自転車を街で共有する「かしわスマートサイクル」、公共の場で電源サービスを提供する「公衆電源espot」の実験は旧施設より継続。UDCKでは、これらを実際に利用しながら効果を検証していきます。

第二期のスタート

2010年9月8日、完成した新施設のお披露目を兼ね、柏の葉アーバンデザインセンターの第二期オープニング式典を開催。台風による雨の中でも、約100名が出席し盛況に行われました。

UDCKの第一期では、数多くの街づくりプログラムを立ち上げました。ここから始まる第二期では、それぞれの取り組みを検証し、定着させながら目に見える成果を出していくことが目標になります。

新施設となったUDCKは、午前10時～午後7時まで入場自由ですので、気軽に見学にお越しください。また、施設に合わせてWEBサイト(<http://www.udck.jp>)もリニューアル。最新のイ



パーゴラから出るクールミストは、見た目にも涼を感じる。



式典に参加した柏市の秋山浩保市長は、「新しい取り組みも、前例にとらわれることなく進めていきたい」とコメント。

ベントやフォーラムの募集などが載っていますので、ぜひアクセスを。

お問い合わせは、柏の葉アーバンデザインセンター(UDCK)まで
[TEL] 04-7140-9686
[MAIL] info@udck.jp



清家 剛氏
柏の葉アーバンデザインセンター(UDCK) 副センター長/センター長代理
東京大学大学院 新領域創成科学研究科 准教授

キーパーソン・トーク

2006年の発足から施設移転までを活動の第一期とすると、それは様々な街づくりプロジェクトを立ち上げた時期でした。現在これだけ多くのプログラムが展開しているのは、UDCKに素晴らしいメンバーが集まり、積極的に取り組んでくれたことの成果です。

当初UDCKは、主にハード面の都市設計を中心に議論・推進する組織として設立されました。しかし第一期の活動を振り返ると、それ以上に市民交流や文化・アートなど、ソフト面の取り組みが非常に活発に行われています。

第二期では、これまで通り都市設計を進めると同時に、こうしたソフト面の取り組みにも積極的に関わっていきます。街づくり全体を俯瞰しながらこうした活動をまとめることはまさにデザイン

することであり、重要な「アーバンデザイン」の要素です。例えば何かイベントを行う場合でも、そのイベントは本来こうあるべきではないか、もっとこういう目的のイベントも必要ではないか、などと提案することでより街づくりが広がり、深みを持つようになります。

UDCKは、市民に開放した街づくり拠点。開放していて最も意義を感じることは、市民の声がダイレクトに街づくり関係者に届くことです。イベントやフォーラム開催時をはじめ、日常的に市民と街づくり関係者が一つ屋根の下に接点を持つことで、市民からの様々な意見や要望はもちろん、ふとしたつぶやきや素朴な疑問まで関係者の耳に入ります。その効果はじわじわと、しかし確実に街づくりに影響を与えています。これから始まる第二期でも、ぜひ積極的に足を運んでいただき、街づくりへの声を聞かせてください。

□編集後記□

本ニュースレター、17号目にしてようやく自らの組織を紹介しました。まだまだUDCKに来たことがないという人も多いと思いますが、これを機会にぜひ一度お越しください。(蛭川)

●このニュースレターに関するお問い合わせ先

柏の葉アーバンデザインセンター(UDCK) 広報担当 小林、蛭川
〒277-0871 千葉県柏市若葉184-1柏の葉キャンパス149街区13
TEL 04-7140-9686 FAX 04-7140-9688
E-MAIL ma-kobayashi@udck.jp WEB <http://www.udck.jp>

柏の葉
アーバン
デザイン
センター

UDCK